

平成25年度行政評価報告書（平成24年度決算ベース）

平成25年度の行政評価は、八王子ゆめおりプランの最終年度に当たる24年度の取組実績について、改めて事業の実施目的及び現在においての目的妥当性を確認するとともに、事業の実施手段の最適性及び効率性を検証し、新基本計画「八王子ビジョン 2022」の実施計画への展開を考慮に入れた評価を行いました。

外部評価委員会においては、これまで当該委員会の評価対象となっていない事業の中から17事業を選定し、「事業仕分け的手法を用いた事業再点検」を継続して実施しました。また、担当部署においては、新基本計画の策定に向けて「事業を継続して実施する妥当性、必要性があるか」といった事業仕分け的視点から事業の見直しを行っています。

※ 本書の「施策評価シート」に記載の部署名及び評価責任者は、行政評価実施時点（平成25年6月24日から7月19日まで）のもので、8月26日付けで実施した組織改正により、部署名は新・旧対照表のとおり変更となっています（9ページ参照）。

※ 平成25年度行政評価日程表は、12～13ページ参照

1 担当部署による評価

施策・事業を担当している部署による自己評価で、施策目標の達成に向けて事業をどのように展開していくべきかを「施策評価シート」により行いました。

まず、施策を構成する事務事業は、重要性・緊急性を考慮に入れ、取組優先度の高い順に表示しています。そして、施策を構成する事務事業ごとに事業目的と実施手段を明確にし、その活動実績・成果を、事務事業を構成する細事業単位の取組を踏まえ、できる限り定量的に説明しています。

次に、八王子ゆめおりプランの施策の「めざす方向」の実現（達成）に向け、事務事業ごとに目的達成度を評価するとともに、その評価理由を明確にし、総合的に判断した上で「次年度への展開」を決定しています。

最後に、施策評価として平成24年度の取組実績・成果を、八王子ゆめおりプランの施策の「めざす方向」に照らし、その達成度を評価するとともに、新基本計画「八王子ビジョン 2022」に掲げる施策の「目指す姿」の実現（達成）につなげていくことを踏まえた「今後の展開」を、施策の評価責任者（部長職）が表明しています。

担当部署による評価結果の概要

評価対象施策（事務事業） 44 施策（316 事業）

①事務事業ごとの目的達成度

- ・ A（175 事業）
- ・ B（141 事業）
- ・ C（ 0 事業）
- ・ D（ 0 事業）

②事務事業ごとの次年度への展開

- ・ 拡充（109 事業）
- ・ 見直し（ 26 事業）
- ・ 現状維持（172 事業）
- ・ 縮小（ 2 事業）
- ・ 廃止（ 5 事業）
- ・ 推進（ 1 事業）
- ・ —（ 1 事業）※

※24 年度で終了する事業

※各施策の評価結果については、

「施策評価シートの見方」・・・18～19 ページ参照

「施策評価シート」・・・21～165 ページ参照

2 外部評価

施策に対するアンケート調査の実施のほか、市民や学識経験者等、外部の客観的な視点から事業を評価します。

（1）市民アンケート調査

平成 17 年度以降実施してきた市民アンケート調査は、八王子ゆめおりプランに掲げる 44 施策に示された「めざす方向」のまちなっているか（実現度）、この施策を推進することをどの程度重視するか（重視度）について、市民の意識を調査し、その結果を外部評価の一つに位置付けて実施してきましたが、平成 24 年度に八王子ゆめおりプランの総括評価を終えたことから、今年度については、実施していません。

（2）外部評価委員会による評価

ア これまでの経過

本市の外部評価は、平成 15 年度の行政評価本格導入当初より、行政評価に市民の意見、提案を取り入れるため外部評価委員会を設置し、施策を対象に評価を行ってきました。平成 19 年度から、施策全体からみた事業の必要性等を専門的な視点で評価するた

め、学識経験者等を委員に加え、環境変化に対応した事業展開がなされているか、また、事業開始時点において必要とされた理由が現在も通用するのか、といった事業の要否まで含めた視点、いわゆる「事業仕分け的視点」により、事業の今後の方向性について細事業を対象に評価を行ってきました。

その後、八王子市行財政改革推進審議会の答申（平成 19 年 8 月 20 日提出）における「事業仕分け的手法を用いた総事業再点検」についての提言を受け、同年 10 月から外部評価委員会において、事業仕分け的手法を用いた事業再点検を試行的に実施し、その後本格的な実施として、平成 21 年 8 月から 23 年 5 月まで八王子ゆめおりプランの各都市像について、評価対象事業を抽出し、評価しました。

イ 評価対象（平成 24 年度）

八王子ゆめおりプランの最終年度の評価として、平成 19 年度に事業仕分け的手法による事業再点検を開始して以来、これまで外部評価の対象となっていない事業の中から 17 の細事業を八王子ゆめおりプランの全編から抽出し、評価を行いました。

ウ 評価方法

評価の実施に当たっては、事業がそもそも必要かどうか、必要ならばだれが実施すべきか（担い手）、といった事業の仕分けをするため、担当部署に対してヒアリングを実施し、担い手を四つの区分（不要・民間・国都・市）で評価しました。

なお、対象事業を外部評価委員会に諮る前段の取組として、庁内評価委員で構成する課題整理検討会（政策審議室・財政課・行政経営部の課長・主幹で構成）において、公益性や有効性などを踏まえた客観的な視点から事業の課題整理を行いました。

行政評価の目的

(1) 成果志向による行政運営の実現

各施策に指標と目標値を設定し、各施策がどのような成果を目指しているのかを市民に分かりやすく示します。また、目標の達成度により、施策が目的どおりの成果を挙げているか、さらに、手段としての事業の構成や重点配分が適切であるか判断し、事業の構成を見直します。

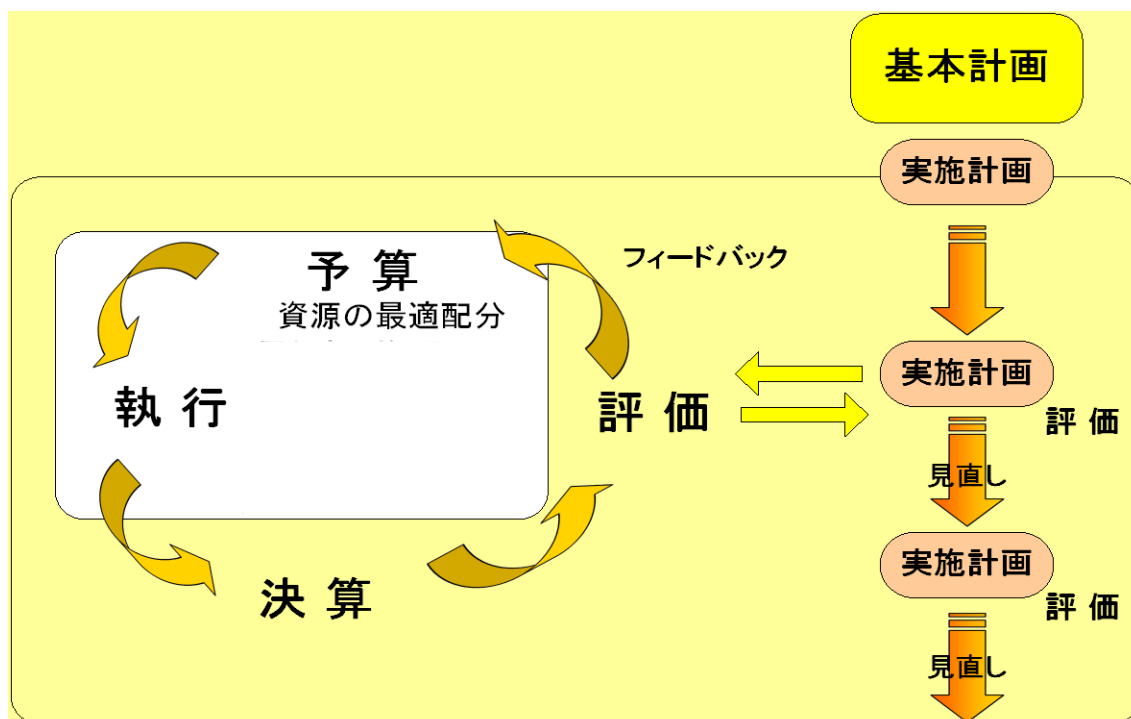
(2) 説明責任の確保

各施策を目標の達成度により評価し、結果を公表することで、市政の透明性の向上をはかるとともに、市民に対する説明責任を果たす市民本位の行政運営を行います。

(3) マネジメントサイクルの確立

マネジメントサイクルとは、計画（Plan）に基づき予算を編成し、執行（Do）した事業の実績に対して評価（Check）というプロセスを導入します。これは、事業を執行した結果、施策の目標や事業の目的に対して意図した成果を挙げることができたか、事業の達成度や効率性、有効性などを考慮に入れ、客観的に評価した結果を次年度の事業、予算に反映（Action）させることです。

これを毎年度繰り返し行うことによって、基本計画と予算の連携が密になり、八王子ビジョン 2022 の実現に向けた効率的、効果的な行政運営を進めていくことができます。



これまでの経緯（行政評価の活動実績）

平成 12 年度

- ・ 行政評価のあり方について、庁内の若手職員 12 人で構成するプロジェクトチーム「八王子市行政評価システム研究会」を設置し、調査・研究を開始

平成 13 年度

- ・ 八王子市行政評価システム研究会は、「行政評価システム導入について」の報告書を作成（平成 13 年 6 月）
- ・ 行政評価システム導入についての基本的考え方を決定（平成 13 年 7 月）
- ・ 平成 15 年度からの本格導入に向け、モデル事業による評価を実施

平成 14 年度

- ・ 平成 13 年度に引き続きモデル事業による試行を通して施策の分析、課題を整理
- ・ 八王子ゆめおりプランにおける施策の体系化及び各施策に対する指標とその目標値を設定

平成 15 年度

- ・ 行政評価を本格導入

平成 16 年度

- ・ 行政評価結果を実施計画や予算に反映するため、決算と実施計画のローリング、予算編成の間に実施

平成 17 年度

- ・ 3 次評価として新たに市民アンケート調査を開始

平成 18 年度

- ・ 行政評価の必要性を再度認識し財政マネジメントサイクルの確立に向け意識の高揚をはかるため、課長職を対象とした研修を実施

平成 19 年度

- ・ 外部評価委員会において学識経験者等を委員に加え、細事業を対象とした事業仕分け的視点による評価を実施

平成 20 年度

- ・ 外部評価委員会において、補助金事業を対象に「事業仕分け的手法を用いた事業再点検」を試行的に実施

平成 21・22 年度

- ・ 「事業仕分け的手法を用いた事業再点検」を本格的に実施
- ・ 外部評価委員会では、八王子ゆめおりプランの各都市像（1～6）から抽出した細事業を対象に、関連する事業も含めた評価を実施

平成 23 年度

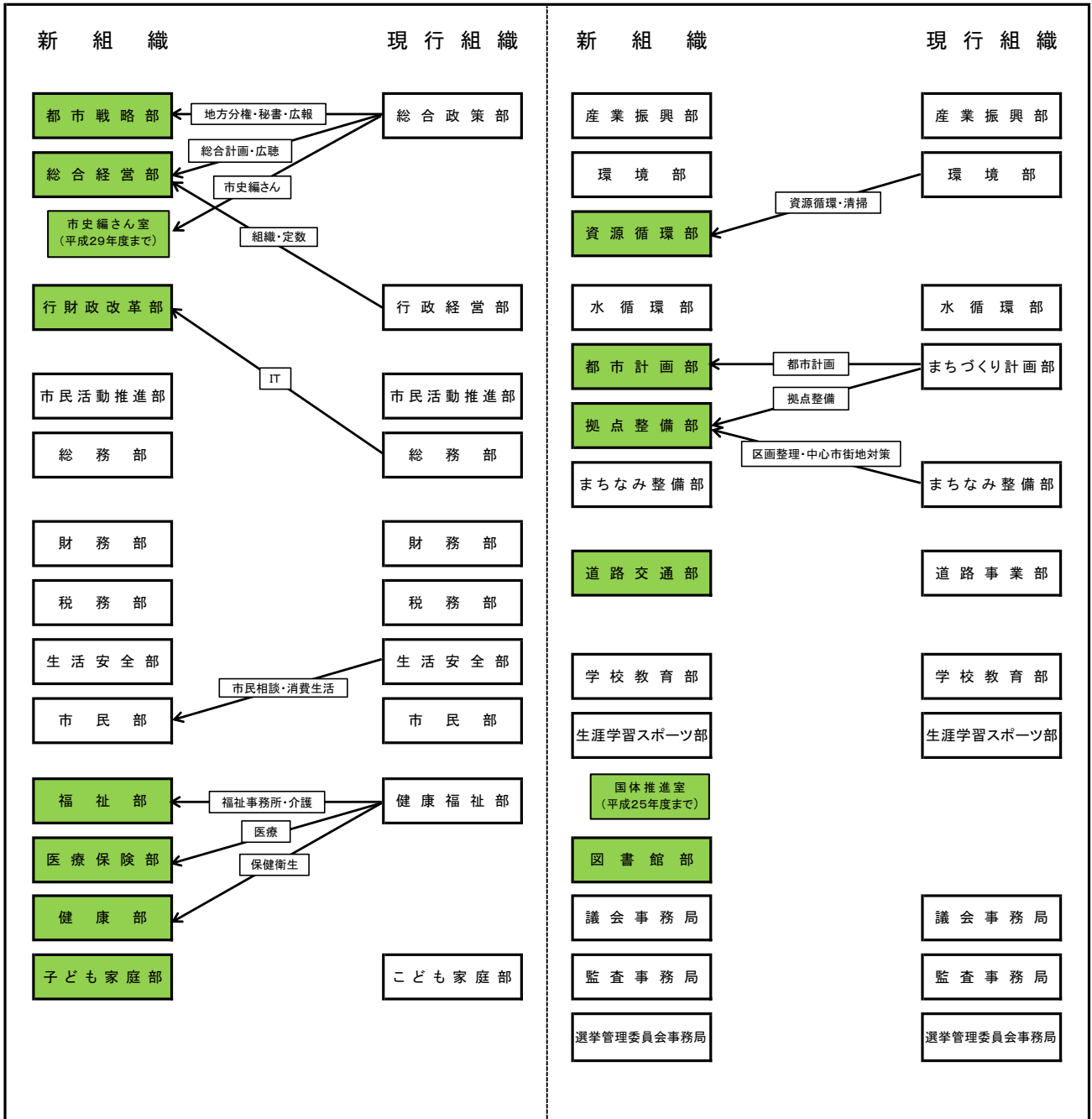
- ・ 次年度の展開を「拡充」とした事務事業について、より詳細な自己評価シートを明示
- ・ 外部評価委員会では、施策展開に関する議論も取り入れた細事業評価を実施

平成 24 年度

- ・ 八王子ビジョン 2022 の策定に、八王子ゆめおりプランの評価を反映させるため、平成 15 年度から 23 年度までの 9 年間の総括評価を実施
- ・ 外部評価委員会では、「事業仕分け的手法を用いた事業再点検」を実施（17 事業）

組織改正による部署名の新・旧対照表

平成25年8月26日 実施



【外部評価委員会開催状況及び評価結果一覧】

(平成24年10月～平成25年3月 開催回数5回)

委員会開催		事業名（対象事業及び関連事業）	担い手評価（人）				所管		ページ
回	月日		不要	民間	国・都	市	部	課	
第1回	10月29日	送迎バス運行事業	1	0	0	7	健康福祉部	東浅川保健福祉センター	172
		身体障害者リフト付乗用自動車運行	0	1	0	7	健康福祉部	障害者福祉課	174
第2回	11月12日	土曜日及び放課後等の学習支援	0	1	0	7	学校教育部	指導課	176
		市民レクリエーション大会	0	3	0	5	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課	178
		市民スポーツレクリエーション大会	0	4	0	4	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課	180
		ネオテニス教室	2	5	0	1	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課	182
		市民スケート教室	0	8	0	0	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課	184
		ヘルシーウォーキング開催経費	0	1	0	7	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課	186
		地区運動会等開催	0	0	0	8	生涯学習スポーツ部	スポーツ振興課	188
第3回	12月17日	彫刻のまちづくり（維持管理）	0	0	0	7	市民活動推進部	学園都市文化課	190
		交通公園（共通管理費）	2	1	0	4	道路事業部	交通事業課	192
		東浅川交通公園	2	1	0	4	道路事業部	交通事業課	194
		清川交通遊園	2	1	0	4	道路事業部	交通事業課	196
		子どもの安全安心自転車ヘルメット着用推進	3	0	0	4	道路事業部	交通事業課	198
第4回	1月28日	夢・伍房管理運営	0	0	0	7	産業振興部	産業政策課	200
		環境学習室の管理運営	0	1	0	6	環境部	環境政策課	202
		北野余熱利用センターの管理運営経費	0	0	0	7	環境部	ごみ減量対策課	204

※会議開催順に掲載。上記以外に平成25年3月18日（月）「評価結果の最終確認について」を開催。
 ※第3回及び第4回委員会の「担い手評価（人）」は、委員1名欠席のため、計7人の評価の集計である。

外部評価委員会による評価結果については、167～205頁参照

【外部評価委員名簿】（敬称略）

役 職	氏 名	区 分
委 員 長	御 船 洋	学識経験者
副 委 員 長	渡 邊 常 義	行政経験者
委 員	小 林 孝 次	学識経験者
委 員	松 井 望	学識経験者
委 員	保 井 美 樹	学識経験者
委 員	澤 田 眞 也	公募市民
委 員	中 村 文 子	公募市民
委 員	堀 井 弘 喜	公募市民

平成25年度 行政評価日程表

